

琉球大学学術リポジトリ

「沖縄の大学英語教育における英語母語話者主義の影響
-沖縄県出身英語教育実践者のライフストーリー研究」

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 琉球大学 公開日: 2024-06-21 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 比嘉, 麻莉奈 メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/20.500.12000/0002020386

様式第7号

学 位 論 文 要 旨

学位論文題目

「沖縄の大学英語教育における英語母語話者主義の影響—沖縄県出身英語教育実践者の
ライフストーリー研究」

琉球大学大学院

人文社会科学研究科

比較地域文化専攻

学籍番号

氏 名 比嘉 麻莉奈

学位論文要旨（横書き楷書、ワープロ可、字数800字程度）

本研究は英語教育実践研究の観点に立ち、拡大円圏である沖縄に生まれ育ち英語帝国主義の影響を受けた個人、そこから沖縄の大学の英語教育実践に取り組む大学教員である個人の内的体験にもとづいた英語教育（ELT: English Language Teaching/Training）に存在する言語イデオロギーとしての語母語話者主義の記述をおこなうことを目的とする。

非英語圏における英語教育が英語帝国主義の影響から脱却するためには、教育機関、ひいてはその地域社会が英語帝国主義・英語母語話者主義に立ち向かうことが重要であり、それにはまず従来の日本一沖縄における英語学習や英語使用そのものが学習者／教員にどのように捉えられているのかを明らかにすることが求められる。英語は現在リンガ・フランカのひとつであり世界中で使用されている。政治・経済・研究・軍事等に対する英語の影響力は絶大であり、それゆえに英語母語話者／非母語話者間に言語のみならずさまざまな格差が生まれている現状がある。本研究では、英語教育に存在する言語的人種的権力構造を含んだ英語イデオロギーの影響力を考察するうえでも、個々の具体的な英語使用がなぜ行われるのかを分析するうえでも有効な分析概念として、「英語母語話者主義 native speakerism」（Holliday, 2005）を援用し、個人のライフストーリーを分析した。分析の結果、生育環境、留学体験、英語母語話者主義の影響、沖縄の大学英語教育の問題点、教育理念と実践を表す5つのカテゴリが抽出され、「国際的に活躍できる人材の育成」を国策としてうたう日本の英語教育方針と併せて、拡大円圏であり米軍基地を有する土地でもある沖縄において英語母語話者主義という言語イデオロギーは英語教育と非常に緊密に存在していることが明らかになった。カテゴリをさらに追究した結果、研究協力者の語りからは、非英語母語話者が英語母語話者主義を内在化する一因に「正しい英語」イデオロギーがあること、そのイデオロギーは社会構造の影響はも

ちろん自己／他者の比較から生まれるが、その乗り越えも他者との関係性の中に見ることができることが分かった。そして英語教育現場においては「英語の多様性」を重視した実践と、教員だけでなく教育機関、そして学生においても母語話者を偏重しない態度が求められていることが分かった。
